

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-9660

(P2003-9660A)

(43) 公開日 平成15年1月14日 (2003.1.14)

(51) Int.Cl.	識別記号	F I	テコード (参考)
A 0 1 G	5/06	A 0 1 G 5/06	3 E 0 3 5
A 4 7 G	7/00	A 4 7 G 7/00	A
	7/02		G
B 6 5 D	85/50	B 6 5 D 85/50	G

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2001-198580 (P2001-198580)

(22) 出願日 平成13年6月29日 (2001.6.29)

(71) 出願人 500514258

株式会社グリーンスタジオ

大阪府吹田市千里万博公園13番35号

(72) 発明者 長田 安広

大阪府吹田市千里万博公園13番35号 株式

会社グリーンスタジオ内

(74) 代理人 100067747

弁理士 永田 良昭

Fターム (参考) 3E035 AA20 AB01 AB04 BA04 BB06

BC02 BC10 BD04 CA06 DA10

(54) 【発明の名称】 生花の包装方法、生花包装物および生花用包装材料

(57) 【要約】

【課題】 生花を誰でも気軽に購入でき利便性も高いようにすること。

【解決手段】 上面に開口部3aを有する筒状の保形部材3に、生花4の基部4aを保持して生花4をきれいに配置し、保持した生花4の基部4aを溜めた水5に没漬した状態にして上記保持部材3を被覆部材6で包む生花の包装方法。



1... 生花包装物
4... 生花
6... 被覆部材

【特許請求の範囲】

【請求項1】上面に開口部を有する筒状の保形部材に、生花の基部を保持して生花をきれいに配置し、保持した生花の基部を溜めた水に浸漬した状態にして上記保持部材を被覆部材で包む生花の包装方法。

【請求項2】請求項1に記載の方法で包装した生花包装物。

【請求項3】請求項1に記載の方法で包装された後、所定環境下に貯蔵され、必要時に搬出されて陳列された生花包装物。

【請求項4】上面に開口部を有する筒状で生花の基部を保持する保形部材と、該保形部材を、生花の基部を水に浸した状態にしたまま包む被覆部材とを有する生花用包装材料。

【請求項5】前記保形部材を有底筒状に形成した請求項4に記載の生花用包装材料。

【請求項6】前記保形部材を、三角フラスコ型に形成した請求項4または請求項5に記載の生花用包装材料。

【請求項7】前記被覆部材をシート状に形成した請求項4から請求項6のうちのいずれか一項に記載の生花用包装材料。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、生花を誰でも気軽に購入でき利便性も高いような生花の包装方法に関する。

【0002】

【従来の技術】生花には、人の心を和ませたり、華やかにしたりするすばらしい作用がある。このためプレゼントはもちろん、見舞いや飾りなどにも広く利用されている。

【0003】しかし、いざ生花を購入しようと思っても、特に男性にとっては、花屋という空間に入りづらいときがある。花束を手を持って帰るのにも抵抗がある。また、花の購入に際しては、店の側では注文を受けてから花を選び取り、外観美麗になるように配置（アレンジ）しながら束ね、切断し、包装するので、時間がかかる。先客がいれば受け取りまでの時間はさらにかかる。このように、生花を気軽に買いにくい現実がある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】そこでこの発明は、誰でも気軽に生花を購入できるようにして、生花の持つ利点を十二分に利用できるようにすることを主たる課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】そのための手段は、上面に開口部を有する筒状の保形部材に、生花の基部を保持して生花をきれいに配置し、保持した生花の基部を溜めた水に浸漬した状態にして上記保持部材を被覆部材で包む生花の包装方法であることを特徴とする。上記被覆部

材は、包装に一般に用いられるセロハン等のシートのほか、例えば籠などの容器であるもよい。また上記「きれいに」とは、そのまま飾れるような状態であることを意味する。

【0006】すなわち束ねたり活けたりして生花を飾り、その生花の基部を保形部材に保持して、保形部材が水を溜められる構造であれば水を入れてから保形部材を被覆部材で被覆する。保形部材が水を溜められない構造であれば、被覆部材に水を張り、保形部材を包む。

10 【0007】このようにしてできた生花包装物は、販売に際してそのまま顧客に手渡される。このため待ち時間なしで購入することができる。

【0008】生花はきれいに配置されている上に、溜めた水にその基部を浸しているの、そのまま飾れる上に長持ちする。このため、生花包装物を購入した側は、花瓶に活け変えなくともよく、花瓶も不要である。生花は茎を短くしてブーケのようにし、また水には延命剤を混入すると、より長い間観賞可能になる。保形部材と被覆部材を、例えば生分解性の材料や焼却しても有毒ガスを発生しない材料で構成すると、観賞期間を過ぎた生花包装物はそのまま捨てることのできる。生花を活けた状態にして販売するものとして、スポンジ状のものに水を含ませて生花を挿し、容器に入れたものが従来からあるが、これではすぐに水が蒸発してしまい生花は長持ちしない上に、焼却できないのでスポンジ状のものの処分になっていた。

【0009】生花包装物は、適宜場所で生花を包装して得て、保管に適した所定環境下に貯蔵するとともに、販売など必要時に搬出して販売場所に陳列するとよい。すなわち、陳列できるスペースさえあれば販売ができ、例えば駅の構内や商店街の一角など、人通りの多い所で生花の販売ができる。しかも販売に際しては上述のように時間がかからないので、代金と引き換えにさっと購入することができる。そのうえ花屋という独特の空間ではないので、男性でも気軽に購入できる。また生花包装物は、生花の基部を保持する保形部材を被覆部材で包んだ構成であるので、袋に入れて持ち帰ることができ、男性でも照れくささを感じることがない点でも気軽に購入できるようになる。さらに販売する側にとっては、包装用の付帯設備が不要で、ゴミを出さずにすむ。

40 【0010】別の手段は、上面に開口部を有する筒状で生花の基部を保持する保形部材と、該保形部材を、生花の基部を水に浸した状態にしたまま包む被覆部材とを有する生花用包装材料であることを特徴とする。

【0011】前記保形部材を有底筒状に形成すれば、保形部材内に水を溜めることができるので、被覆部材による被覆が容易に行える。特に、保形部材を三角フラスコ型に形成すると、被覆部材が樹脂シートや紙などのシート状であっても、置いたときに安定性がよく、見た目もよい。前記被覆部材をシート状に形成すると、色や形な

ど自由度が高く、きれいでおしゃれな包装が可能となる。

【0012】

【発明の実施の形態】この発明の実施の形態を、以下図面を用いて説明する。図1は、生花包装物1の斜視図であり、この生花包装物1は、この状態にあらかじめ作られ、販売され、そのまま飾ることもできるものである。

【0013】包装は、図2、図3に示したような包装材料2を用いて行う。すなわち、上面に開口部3aを有する筒状の保形部材3に、生花4の基部4aを保持して生花4をきれいに配置し、保持した生花4の基部4aを溜めた水5に浸漬した状態にして上記保形部材3を被覆部材6で包んで行う。

【0014】上記保形部材3には、薄い合成樹脂からなるコップのような有底筒状のものを用いる。この保形部材3は、三角フラスコ型であると、置いたときに安定性がよい上に、見た目にもきれいな形であるので好ましい。また、生分解性の材料や焼却しても有害ガスを発生しない材料で形成すると、不要になったときにそのまま捨てられるのでよい。

【0015】このような保形部材3内に水5を注入し、そのまま飾るようにきれいに配置した生花4の基部4aを挿して保持する。

【0016】生花4は、茎を短めにしてブーケのようにすると日持ちがよい。また水には、延命剤を注入すると、長期間の観賞ができるようになるのでよい。生花4の基部4aを保持した保形部材3は、シート状をなす被覆部材6で包む。被覆部材6には、合成樹脂などからなるそれぞれ色の異なる色つきの方形のシートを2枚重ねて用いる。色つきの不織布と透明のセロハンを組み合わせたなど、他の構成を採用するもよい。

【0017】広げた被覆部材の中央に保形部材3を置いて、周縁部をめくりあげて中央に寄せ、保形部材3上端部対応部分において輪ゴムや紐、粘着テープなどの結束部材7を用いて仮止めし、被覆部材6の端をきれいに整えてから、仮止めの上にリボン等の装飾部材8を止める。結束部材7がきれいな紐や粘着テープなどであれば、装飾部材8を省略することもできる。

【0018】被覆部材6は、体裁のよい籠などで構成するもよい。また、被覆部材6が水を通さない性質のものであれば、上記保形部材3を底なしの形に形成して、コストの低減などを図ることもできる。すなわち、被覆部材6を、凹部を有した適宜部分の上に敷き、被覆部材6の中央部を凹ませて水を溜め、その中に、生花4の基部4aを保持した保形部材3を置いて、被覆部材6の周縁部をめくりあげて中央に寄せ、結束すればよい。

【0019】この被覆部材6も生分解性の材料や焼却しても有害ガスを発生しない材料で形成すると、不要になった後の処分が容易であるのでよい。

【0020】なお、多数本の生花4を束ねるのではな

く、体裁よく活けた状態にした生花包装物1を得ることもできる。

【0021】このためには保形部材3の上端開口部3aに、例えば図4に示したような網状の被着部材9を取り付けるとよい。生花4は、被着部材9の網目9aに通して挿せば、挿した状態を保持しやすい。

【0022】生花包装物1を得るに当たっては、花の色や種類に応じて、適宜のアイテム（品目）を設定し、表に現れる被覆部材6もそれに適して適したものを選ぶ。そして複数の種類の生花包装物1を作り、そのアイテムに応じた適宜のネーミングをして、図5に例示したように店舗に並べて種類ごとに展示する。アイテム名としては、色で設定する場合、例えば「スリーズ」（ピンク系の組み合わせ）、「ジョナトール」（オレンジ、イエロー系の組み合わせ）、「ブルーテ」（ブルー、パープル系の組み合わせ）、「エカルラット」（レッド系の組み合わせ）、「ベール」（グリーン系の組み合わせ）などとし、イメージで設定する場合、例えば「ミニヨン」（可愛い感じ）、「ドゥー」（やさしい、やわらかい感じ）、「シック」（しゃれた、粋な、品のよい感じ）などとするといふ。このようにすると、これまでの花の名前で買う生花のイメージとは異なり、出来上がったアイテムの中から気に入ったものを選ぶという、これまではない新規な生花の販売が行える。このため、花に疎かった人にとっても買いやすくなることができる。

【0023】この生花包装物1は、花屋のような通常の設備を有した場所で作り、保管に適した所定環境下に一時貯蔵しておいて、販売時に搬出して陳列するとよい。販売する場所で包装する必要をなくすることで、花束を作るための付帯設備のない狭い場所での販売が可能となり、新しい販売展開を図ることができる。例えば駅の構内や商店街の一角など、人通りの多い場所で販売が行えるようになる。そうすると、特に男性には入りやすかった花屋、待ち時間がかかる花屋という、花を求めにくいイメージを払拭することができ、誰でも気軽に生花を買えるようになる。またその構成により生花包装物1は提携袋に入れて持ち帰れるので、この点からも気軽さを増長できる。

【0024】販売する側にとっても、出来た生花包装物1を提携袋に入れる程度でよいので、手間がかからずよい上に、フラワーデザイナーやフラワー装飾技士のような資格者も必要でないで販売しやすい。

【0025】また購入した側や贈られた側は、生花包装物1をそのまま飾ることができるので、便利であり、ゆとりやリッチ感、安らぎ、潤いを得るなど、生花の持つ効果を手軽に享受することができる。

【0026】このように様々な立場の人にとって都合のよい生花の流通が期待できるので、日常生活の中に緑や自然、ゆとりなどを取り込むことが可能になるなど、生花の良さを十二分に活用できる。

【0027】

【発明の効果】以上のようにこの発明によれば、生花はあらかじめ包装しておくので、買うための待ち時間をなくすることができる。また販売には、商品を陳列するスペースだけあればよく、花屋のように入りにくい空間を作らずにすむ。このため、誰でも気軽に購入することができ、帰宅時のお土産や訪問時の挨拶代わりやプレゼントなどに利用でき、日常生活のあらゆる場面で生花の有する特徴を、気軽に手軽に十二分に活用できる。

【0028】また、購入した生花包装物はそのまま飾っても長持ちするので、手間がかからず便利である。贈られた側が、花瓶がないなどと困惑することもない。

【0029】さらに、販売する側にとっては、小スペースでよく、付帯設備も必要ないので、これまでのような来客を待つばかりの販売ばかりではなく、新しい販売展開を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 生花包装物の斜視図。

【図2】 生花包装物の構造を示す斜視図。

【図3】 生花包装物の要部の断面図。

【図4】 保形部材の他の例を示す斜視図。

【図5】 生花包装物の陳列状態を示す説明図。

【符号の説明】

1…生花包装物

2…包装材料

3…保形部材

3a…開口部

4…生花

4a…基部

5…水

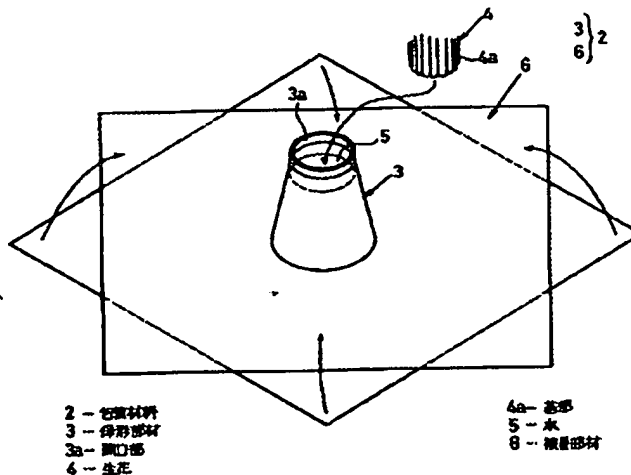
6…被覆部材

【図1】



1…生花包装物
4…生花
6…被覆部材

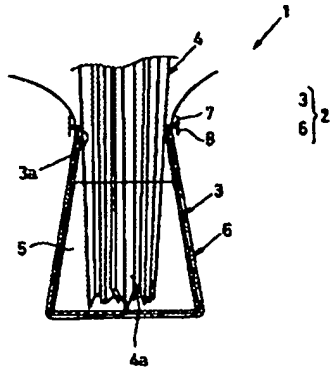
【図2】



2…包装材料
3…保形部材
3a…開口部
4…生花

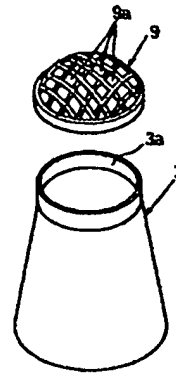
4a…基部
5…水
6…被覆部材

【図3】



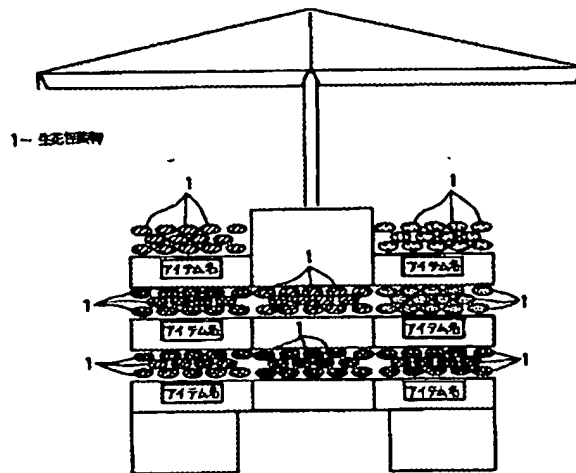
- | | |
|-----------|----------|
| 1 - 生花器植物 | 4 - 生花 |
| 2 - 培養材料 | 4a - 基部 |
| 3 - 保水材料 | 5 - 水 |
| 3a - 開口部 | 6 - 容器材料 |

【図4】



- | |
|----------|
| 3 - 保水材料 |
| 3a - 開口部 |

【図5】



DERWENT-ACC-NO: 2003-496366

DERWENT-WEEK: 200347

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Packaging method for fresh flowers, involves holding
base of fresh flowers to cylindrical holder such that
base of flowers is immersed in water inside holder, and
wrapping holder with covering

PATENT-ASSIGNEE: GREEN STUDIO KK[GREEN]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0198580 (June 29, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES
MAIN-IPC			
JP 2003009660 A	January 14, 2003	N/A	005
A01G 005/06			

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2003009660A	N/A	2001JP-0198580
2001		June 29,

INT-CL (IPC): A01G005/06, A47G007/00 , A47G007/02 ,
B65D085/50

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003009660A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The method involves holding the base of fresh flowers (4) to a
cylindrical holder, whose upper face is provided with an opening, such
that the
fresh flowers are finely distributed to the retainer. The base of the
flowers

is immersed in water inside the holder. The holder is wrapped with a covering
(6).

DETAILED DESCRIPTION - INDEPENDENT CLAIMS are also included for the following:

(a) a fresh flowers package;

(b) a packaging material.

USE - For packaging fresh flowers.

ADVANTAGE - Allows pre-packaging of fresh flowers, thus eliminating waiting time of buyer.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the perspective view of fresh flowers package. (Drawing includes non-English language text).

Fresh flowers 4

Covering 6

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/7

TITLE-TERMS: PACKAGE METHOD FRESH FLOWER HOLD BASE
FRESH FLOWER CYLINDER HOLD
BASE FLOWER IMMERSE WATER HOLD WRAP HOLD COVER

DERWENT-CLASS: P13 P27 Q34

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-394528